

ところ、道路においては歩行者の安全が第一と捉えております。新年度も、横断防止柵の設置などを行う城山泉の森線の歩道改良工事をはじめ、歩行者が安心して通ることができるよう、着実に道路の安全性を高めてまいります。

### 6 環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち

六番目の基本目標は、「環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち」でございます。

国は、昨年5月に「地球温暖化対策の推進に関する法律」を改正し、地球温暖化対策の基本理念として2050年カーボンニュートラルを法に位置づけました。また6月には、「地域脱炭素ロードマップ」を策定し、政策を総動員して脱炭素に取り組むことを掲げております。本市におきましては、これまで実施してきた公共施設への太陽光発電設備の設置などの施策を推進しながら積極的に温室効果ガス排出量の削減に努めているところであり、この4月に改定を予定している「大和市地球温暖化対策実行計画」に基づき、脱炭素社会に向けた取り組みを進めてまいります。

北のまちの拠点である中央林間駅周辺においては、平成30年の中央林間図書館、市民交流拠点ポラリスのオープンに続き、令和2年に小田急線北側踏切を拡幅することができました。さら

に、地域の皆様が長い間待ち望み、私にとっても市長就任以来の念願であり、市としても力を注いできた小田急中央林間駅の東側の改札口が昨年11月に完成いたしました。駅の東側にお住まいの方は踏切を渡らずに構内へ入場できるようにするなど、駅周辺の利便性が格段に向上するなど、日常生活の中で変化を感じられる街づくりが着実に進んでいます。現在も引き続き、駅の利便性や安全性を向上させるための工事が進められており、新年度も駅のトイレ改修やホームドア整備に対する支援を行うとともに、乗換えて小田急中央林間駅の東側の改札口を利用する歩行者が、より安全に通行できる空間の整備を行うてまいります。また、ポラリスに隣接する緑野青空子ども広場につきましては、将来にわたって中央林間地区の貴重なオープンスペースとなるよう、自然を残しながら土や木に触れることができる地域の皆様の憩いの場として整備してまいります。

本市は、誰もが移動しやすい環境を充実することで、まちの快適性と利便性の向上を図っております。私は、かねてから平たんな市域の特性に着目し、身近な交通手段である自転車の移動がしやすくなるよう、自転車通行空間の整備に力を入れてきました。今年度から、イオンモール大和の東側で、歩行者と自転車を分離した自転車通行空間の整備に着手しているところであり、

に、地域の皆様

### 7 豊かな心と感動が広がるまち

七番目の基本目標は、「豊かな心と感動が広がるまち」でございます。

図書館行政と子育て施策の一体感を表すとともに、子どもたちの幸せが育まれているまちのイメージを表現している「絵本のまち やまと」をブランドアイデンティティの一つとしている本市では、多くの子どもにとって初めて触れる本となる絵本に改めて注目し、事業を展開してまいります。その一つとして、新年度には、文化創造拠点シリウス内の図書館の絵本について、多言語への対応なども含めて蔵書の一層の充実を図ることにより、様々な絵本と接することのできる環境を通して読書に興味を持ち、豊かな心と生きる力を育むことにつなげていきたいと考えております。さらに、絵本作家志望者の優れた才能を発掘、支援するとともに、子どもたちに絵本の魅力、そして夢や希望を届けるため、「仮称やまと



絵本大賞」と題したコンテストを開催し、オリジナルの絵本を製作するなど、絵本を楽しむ機会の創出に取り組んでまいります。

学びを通じた、市民の居場所づくり、市民同士の繋がりの創出を目指す健康都市大学において、市民が講師を務める市民でつくる健康学部は、平成31年4月の開講以降、昨年末までに594回の講座を実施しており、延べ1万6,852人の方に受講していただくなど、好評を得ています。新年度には、健康都市大学をさらに盛り上げる事業として、学びをきっかけとした、外出意欲の促進、多様な交流の創出などを目的とする「健康都市大学 月イチ学園祭」の開催を予定しております。健康や福祉の分野はもちろん、様々なジャンルの催しを行うことで、学園祭と呼ぶにふさわしい誰もが楽しめるイベントになるものと期待しています。

市では、歴史資料を整理し、後世に継承するため、市史刊行物を作成しており、本市で起きた災害をまとめた「(仮称)大和市の災害史」の編集を現在進めています。歴史を知ることは、今を、そして未来を考えることにもつながると思います。今年の9月に刊行する予定です。是非、ご覧ください。昨年の東京と今年の北京、2年連続で開催されることとなったオリンピック・パラリンピックを通して、改めてスポーツの魅力を感じるとともに、自

新年度はさらに整備を北に進め、イトーヨーカドー大和鶴間店の東側において、工事を実施してまいります。

市を南北に走る自動車交通の動脈である福田相模原線については、交通の円滑化や歩行者の安全確保に向けて、南林間、上草柳、福田の各地区において拡幅や整備に向けた調整等を進めており、新年度も引き続き計画的に進捗を図ってまいります。

また、鉄道や民間路線バス、本市のコミュニティバス、自転車などに関する交通施策を推進するための総合的な計画である「大和市総合交通施策」の改定を現在進めているところであり、この中では、外出が楽しくなるまちを目指して、歩きたくなるまちなかの空間を創出していくことにも目を向けております。こうした取り組みの一環で、日常の外出のきっかけにもつながるよう、新年度は、試行的に、市内北部、中部、南部の遊歩道付近、合計4カ所に、ちよっと腰を下ろしてひと休みで



整備を進めている自転車通行空間

きるベンチを設置いたします。お近くにお出かけの際にはご利用いただければと思います。

日頃から多くの方にご利用いただいている引地台公園については、北側に点在していた駐車場を整理統合し、効率的な施設運営を図ることに併せ、より魅力的な総合公園となるよう、今年度、ロータリーと北側駐車場を開放的なエントランスと芝生広場とする改修を進めてまいります。新年度は、このエントランスから噴水広場を結ぶ園路を整備し、公園の新たな玄関口として多くの来園者をお迎えしてまいります。

また、「誰もがつい足を運びたくなる公園」をコンセプトとして、昨年1月から改修工事を行っているやまと公園は、令和5年2月のオープンに向けて準備を進めてまいります。芝生広場を整備し、ユニバーサルデザインや防犯にも配慮した明るく開放的な空間とするともに、休憩所や遊具も備えることで、お子さんから高齢の方まで、誰でも気軽に利用できる、本市中央の新たなスポットへと生まれ変わります。商業施設や飲食店が多く並ぶ大和駅から至近の公園であり、災害時には多くの人々が避難することも想定されるため、マンホールトイレやかまどベンチを設けるほか、災害対応の物資を備蓄するなど、防災機能の強化も図りながら、新たな賑わいの拠点となるよう整備を進めてまいります。

身もスポーツを楽しみたいという思いを強くされる方も多いのではないかと思います。スポーツを楽しんでいただくためには、スポーツ施設をいつでも快適に利用できる状態としておくことも重要であり、新年度は、大和スタジアムの空調の更新等を実施してまいります。さらに、スポーツ教室やホームタウンチーム「大和シルフィード」と連携しながらのサッカーイベントなどを開催することで、ハード、ソフトの両面からスポーツに親しむことのできる環境をしっかりと整えてまいります。

### 8 市民の活力があふれるまち

八番目の基本目標は、「市民の活力があふれるまち」でございます。

コロナ禍にあつて、市内経済は大きな影響を受けています。今なお、新型コロナウイルスの収束が見えない中、市内の活性化に向けては、感染症への対策に十分気を配りつつ、経済活動を活発にしていくことが重要な課題であります。

そのような中、新年度は、新たな経済対策として、市内商店会等の空き店舗を解消し、地域経済の活性化にもつながるよう、こうした店舗を活用して事業をスタートする方への補助制度を設けます。また、売り上げの向上を目指す店舗等に対しては、来店した方が次回来店時に使えるクーポン券を市が

発行し、希望する市内店舗等に提供するとともに、最終的にクーポン券の金額を全額清算することで、事業者の経済活動への支援と消費喚起の促進、双方に効果の期待できる取り組みを実施してまいります。考えております。さらには、新しい事業にチャレンジする事業者の資金繰りを支援することを目的に、市の中小企業事業資金融資の信用保証料に対する補助金の補助率と上限額を拡充します。アフターコロナの市内経済の姿を見据えつつ、新型コロナウイルスに立ち向かう事業者の新たな一歩を力強く後押ししてまいります。

経済だけではなく、各種イベントの開催も新型コロナによって大きく影響を受けました。本市においても開催がかなわなかったイベントは数多く、気を落とされた方も少なくないと思います。新年度も、各種イベントの開催につきましては、新型コロナの感染状況を見極めた中で、やむを得ず開催を見送ることがあるかもしれませんが、市民の皆様の安全を最優先に考え、これまでの経験で得られた感染症対策を徹底しながら、魅力あふれる企画が実現できるように市としても取り組んでまいります。考えてまいります。

イベントや地域のお祭りなどに、日頃からご尽力をいただいている、地域コミュニティの中心的存在ともいえる自治会に対しては、活動の拠点となる自治会館について、老朽化に応じて順